

色付き蒸発皿 使用時の注意点

実験方法

水溶液に溶けているものを取り出すため、水溶液を蒸発皿に少量（約1mL）取り、実験用ガスコンロの上にセラミック付金網を置き、熱する。

- 小学校5年 「物の溶け方」
食塩, ミョウバンなど
- 小学校6年 「水溶液の性質」
食塩水, 炭酸水, アンモニア水, 塩酸, 石灰水など

注意点

- 薬品が目に入らないように、**保護めがね**をかける。
- 薬品が手などについたら、水で良く洗う。
- **換気**をする。
- 蒸発皿に顔を近づけて臭いをかいだり、出てきた**気体**を**直接吸い込まない**ようにする。（※加熱前に臭いを調べるときは水溶液を試験管などに入れ、手であおいで臭いをかぐ。）
- 熱しているときは、薬品が飛んでくることがあるので、上からのぞいたり、顔を近づけたりしない。
- **液体が残っているうちに熱するのをやめる。**
- 熱したのものや使った器具は熱くなっているので、**冷めるまでさわらない。**



蒸発皿を加熱するとき、乾く直前に加熱した液や塩の結晶が飛んでくることもある。これを防ぐために液はできるだけ少量（約1mL）にし、**蒸発が進んできたら火を弱め、水分が残っているうちに火を止める。最後は余熱で蒸発させる。**また、蒸発皿を冷ますときは、ぬれ雑巾などの上に置いて**急激に冷やすと割れる**こともあるので注意する。



【蒸発皿のポイント】

食塩やミョウバンは白色なので、青色などの蒸発皿の方が出てきた粒を確認しやすい。



理科教育を支援する

公益社団法人 日本理科教育振興協会

TEL. 03-3294-0715 ホームページ <http://www.japse.or.jp>